



混浴義父温泉

夫の横で義父チ○ポを啜えこむ妻のマ○コ
イカされまくりで中出しされて孕まされる

まさか……
お義父さんとこんなことになるなんて……
もう……戻れない……

義父のチ○ポで連続絶頂！大量中出し！
マ○コから溢れる精液！！

フルカラー105ページ



疲れた夫を癒すために
企画した温泉旅行

温泉好きのお義父さんも
加わって三人で行くことに……

……まさか……
こんなことに……

混浴義父温泉

夫の横で義父チ○ポを啜えこむ妻のマ○コ

イカされまくりで中出しされて孕まされる

もう……
戻れない……

「瑛太」と「美里」は仲睦まじい夫婦として
近所でも評判だ

そんな二人の未来は安泰に見えたが……



何とか疲れを
癒してあげたい…

……そうだわ

ねえ瑛太さん
久しぶりに
温泉に行かない？

…温泉か
いいねっ

ふふっ瑛太さんは
本当に温泉が好きよね

あの宿の露天…
確か混浴だったわよね

ああっ
特に露天風呂は最高だよ
ぜひ露天のある宿に行こう

ほら俺の気に入ってる
宿があったろ？
あそこに行こう

それに疲れを癒すなら
やっぱり美里と一緒に入らないと

もうあなたったら

ああそうだよ
あそこの露天いいんだよなあ

あの宿は嫌?

嫌というか…
やっぱり少し恥ずかしくて

ははは 大丈夫

あの露天は
普段は誰も来ないし
誰かに見られるような
事はないよ

確かに今まで誰かに
会ったことはないけど…

だろ?
なら決まりだな

ふふっ そうね
分かったわ
あの宿にしましょう

よし!
じゃあ休みが取れるよう
仕事頑張ってくるな

はい
行つてらっしゃいあなた

そうだわ
家を空ける事お義父さんに
伝えておかないと

ほう……

瑛太と温泉に？

はい最近瑛太さん
疲れ気味だから
温泉で癒されて
貰おうと思って

なるほどなあ
それはいい提案だな

私も温泉が大好きなんだよ
いやむしろ瑛太の温泉好きは
私の血とも言える

よし！
私も行こう

そうだったんですか

お義父さんと
三人で温泉…

瑛太さんと二人で行きたかったけど
お義父さんも温泉が好きなら
一緒に行った方がいいわね

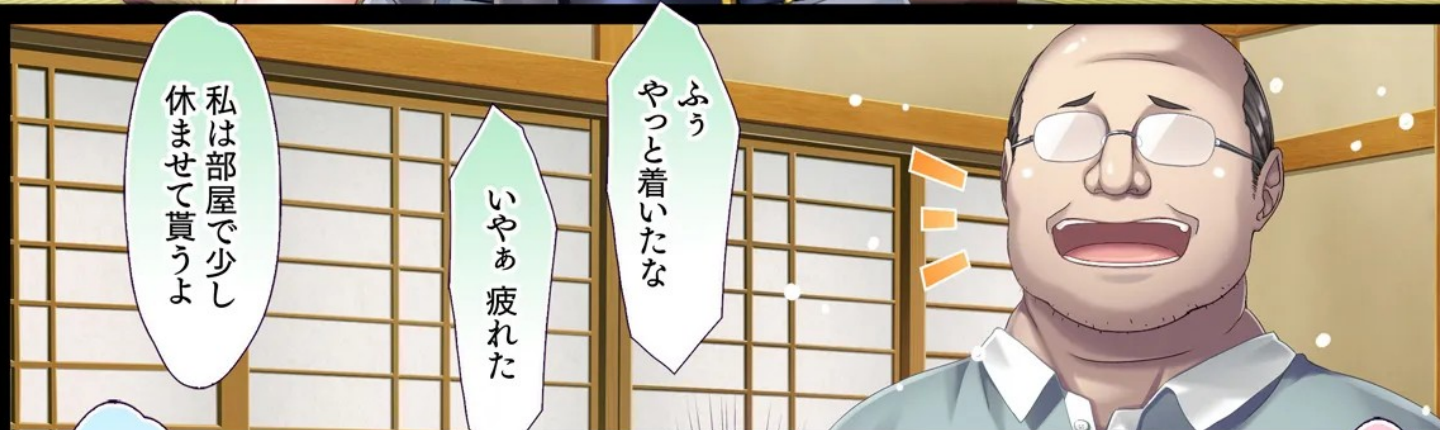
それに露天以外は
男女別だし…
うん 何も問題
ないじゃない

ふふっ
それじゃあお義父さんも
一緒に三人で行きましようか

ああよろしく頼む



わあっ
きれいなお部屋



ふう
やっと着いたな

いやあ疲れた

私は部屋で少し
休ませて貰うよ



お義父さん
運転有難うございました

疲れの溜まっている
瑛太さんを気遣って
お義父さんが殆ど
運転してくれた

おかげで瑛太さんも
少し元気が出てきたみたい

よしじゃあ俺達は早速
温泉に入ろうぜ

これこれっ

ここからの眺めが
最高なんだよなあ

誰か来たりしないかしら…

大丈夫だって
そんな事より
この景色を見ろよ

確かに…
すごく綺麗…

だろ？

ふふっ
あなたが元気になって
くれて良かった

俺そんなに
元気なかった？

すっかり疲れた顔してた

そっか
心配かけたな

でももう心配いらないぞ
ほら

ああなたったら

すごく大きくなってる…

あーあー

可愛いなあ美里は

タオルごしでも
素晴らしいスタイル
なのがわかるよ

うんっもう
あなたったら……

ちゅぽん

誰もいないから
タオル取っちゃおうよ

ちゅぽん

あんっ

たぽん

美里のおっぱいは
相変わらず大きくて
最高だな

美里…
このまましょっか

いやっ あんまり
じろじろ見ないで

あつあふうんつ
こころで?…あふあつ

んくう…でもおつ
や…やつぱり…あんっ
ここぞなんて…ダメよっ

そう
俺のお気に入り
の場所で…

誰も来ないって
それに美里も気持ちいいだろ？
さつきから腰がうねってるぞ

だつてえ
瑛太さんの硬いのが…
当たって…あんっ

んっ
瑛太さん
…私も…

美里愛してる…

んあああつ
あなた：っ

んっそんなに強く
触られたらっああっ

だつてえ…
あなたにしてみらうの
久しぶりで…あつ

俺の手で美里のおっぱいが
グニグニ変形してるよ

あつんっ
気持ちいい

あううっ
おっぱい揉まれるだけで
体ビクビクしてっちゃう

はは肩が震えてる
そんなにイイ？

美里の凄く気持ちよさそうな
顔見てたら俺も…

……っ
瑛太さんの硬いのがあ…っ
私の…っアソコに当たってるう

あああつ
恥ずかしい所がヌルヌルで…っ
硬いので擦られるのいいっ

ああっんふうっ
あなたので擦られてんっ
アソコが期待しちゃってるのお

気持ち…いいっ
気持ちいいのお…っ

ねえあなたお願いあい
もう挿れてえ

こうして擦りつけてるだけで
ヌルヌルの愛液が
とめどなく溢れてくるよ

こんな所で挿れていいのかつ

さつきまであんなに
誰か来ないか気にしていたのに

いっついこのっ
私...もう我慢出来ないっ

俺もだっ

だっ
だっ
だっ

だっ
だっ
だっ



おお 良さそうな
温泉だなあ

きゃっ
おお義父さん

急に入ってくるなんて…

あせ
あせ

……まったく
どういうつもりだよ

いやー
すまんすまん

うう…お義父さんも
露天に来るだなんて

それもあんな事を
しようとした時に…っ

見られちゃったかしら……

大丈夫
親父は眼鏡かけないと
よく見えないから

美里の裸は見られてないよ

ふ〜ん?

いやぁいい温泉だ
湯も柔らかいなあ
ふうふうっ

お義父さん全然気にしてないみたい
やっぱり見えてないのかしら…

それなら…こうして
一緒にいても大丈夫…よね

そうだ！親父
マッサージ
上手かったよな

色んなマッサージ店に通ってるからな
そこの新人マッサージ師よりかは
腕に自信あるぞ

久しぶりに頼むよ
俺肩がバッキバキでさあ

仕方のないやつだなあ
よしここに座れ

よろしく

……つと
どうだ？

あああああ
最っ高……

だろう？

急にお義父さんが入ってきて
どうなるかと思ったけど…

瑛太さんリラックスしてる…
瑛太さんに元氣になって貰う為に
来たんだもの…良かった…

ふうっ
なんか少し
のぼせてきたな

俺はこの辺で
上がるな

美里はゆっくり
していいからな



え？
ああなた…っ

どうしよう
お義父さんと二人きり

でもすぐに出ていくのも
感じが悪いわよね

美里さん

美里さんにも
マッサージして
やろうか？

あんたも毎日家事や
何やで大変だろう
さ遠慮せずに

え？ いえ
そんな悪いですっ

いいからいいから
な？

えっあのっ
本当に悪いですから…っ

どうしよう
あんまり拒否するのも
よくないわよね

お義父さんは
善意で申し出て
下さってるんだし…

それじゃあ…
少しだけ…

よし
じゃあしつかり
揉みほぐして
あげよう

はい

美里さんも肩が凝ってるなあ
どれ もみもみもみ…っ

どうだい？

んっんあんっ

びく

びく

びく

ん…気持ちいいです
しつかりツボに入って…
あふうっ

へ変な声出ちゃった

さっきの
瑛太さんとの行為で
体が敏感に
なっちゃってる…っ

ぎゅわ

ぎゅわ

マッサージとしても
気持ちいいんだけど
それ以上に……

ここを押すと
凝りに効くんだよ

ゲ
ッ

あっあふっ
ああん…っ

声…出ちゃ…っ

どうしたんだい…?
痛かったかな?

いいえ…
そんな事ないです…
大丈夫です…

あーっ

どうしよう…
変な感じに
なっちゃうっ

そうかい?
それじゃあ続きを…

もみもみ
もみもみ

鎖骨の下も
凝ってるねえ

あーっ

ひゃふんっ
そこはっ

胸に近くて…
感じちゃうう…

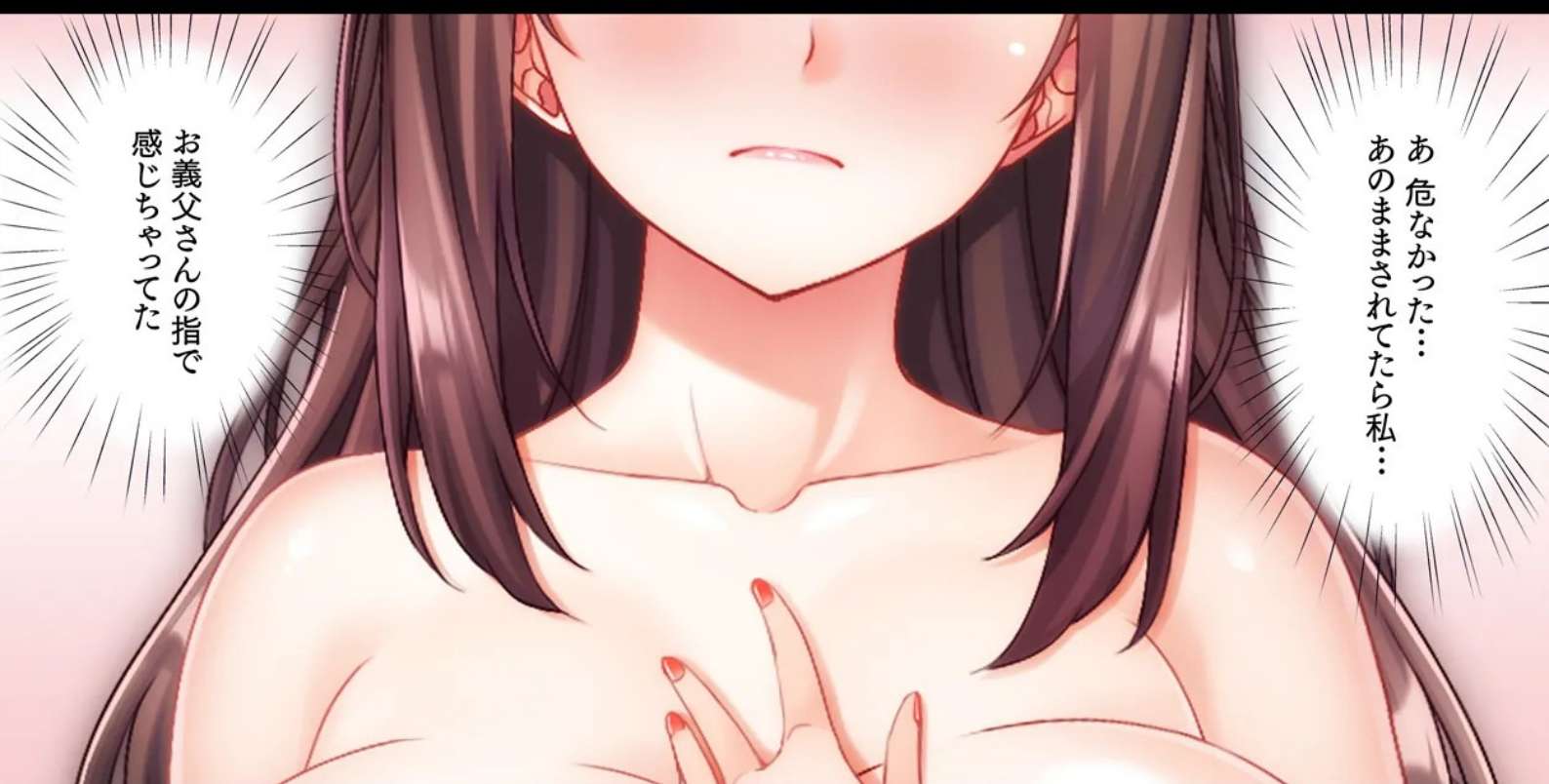
ほらこの
リンパのところ…

ふああっ
んっんふあっ

ひっ体が
あああんっ

美里さん
随分と肌が
紅潮してきたね

ダメダメ声抑えられないっ
これ以上されたら…私…っ



戻りました

お帰り
親父は？

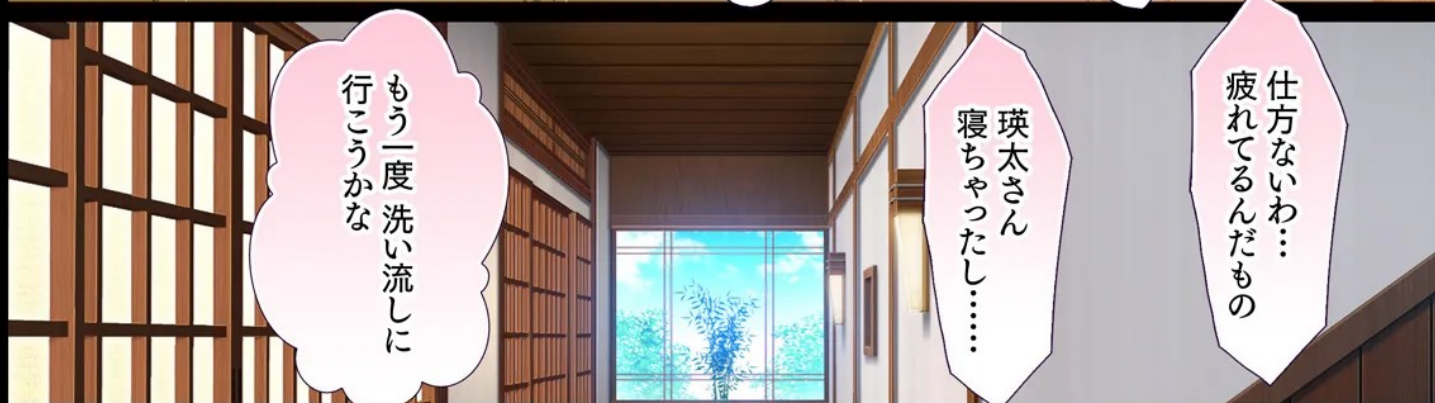
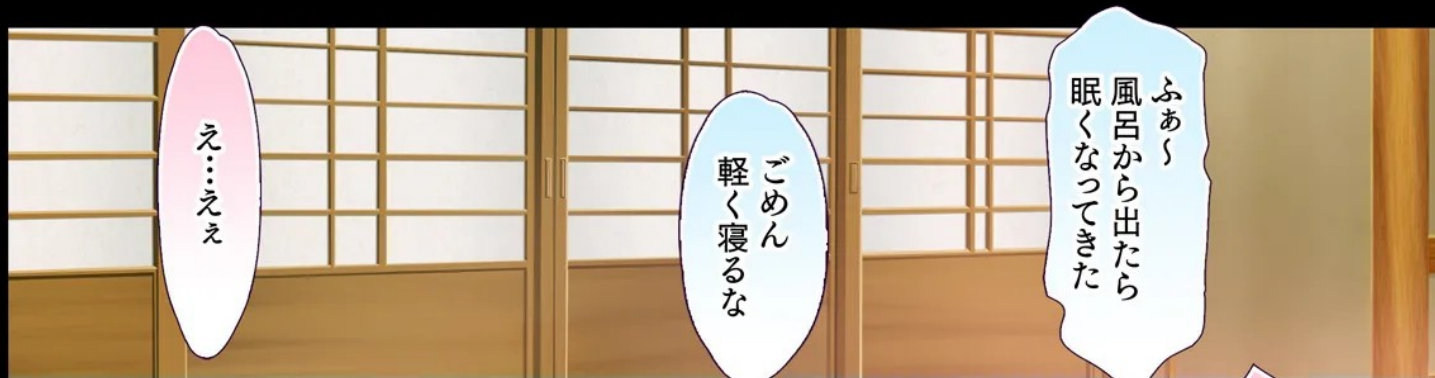
まだ温泉を
楽しんでるわ

そっか親父も
温泉が好きだからなあ
何か飲む？

ううんいらないわ
それより…

瑛太さんに触られた後に
お義父さんにマッサージされて
体が火照ってる

ねえあなた…



ふふっ
貸し切りね

お義父さんも
いないみたいだし…

タオル取っちゃお

……はあああ

何だか変な気分にな
ってきちゃってまし

少しここで
落ち着いていこう



おや美里さん
戻ってきたのかい

お……お義父さんっ
もう出られたんじゃ…

あつタオルが
……っ

……でもお義父さん
眼鏡ないと見えないって
言っていたし……

全く
あいつは…

いやあ
少し涼んできたただけだよ

瑛太は？

そう…でしたか…

少し眠りたいって

そうだ
マッサージの続き
してあげようか？

えっ

瑛太ばかりリラックス
してちゃズルいだろう？
主婦だつて疲れてるよなあ

は……はい

マッサージして
貰うだけ……
それだけの事よ……

ううん やつぱり
凝ってるなあ

どうした？

あうっん……
あ……っそこ……っ

そうかそうか
これは揉みほぐし
甲斐がある

気持ち……
いいです……

喜んで貰えて嬉しいよ
どおれこっちはどうかな

んっんっ
お義父さん
お上手ですね

ああっそこ……も
いい……んっ あああっ
気持ち……っいいっ



あつ そ…
そんなところ…っ

美里さんのおっぱいは
大きいねえ

やめ…ダメですっ
こんな…ああっ

これだけおっぱいが大きいと
肩が凝るだろう
念入りに揉んでやらんと

あつ ああんっ
胸…がっ あふうっ

あ…ああ…
そん…な風に…っ
触られたら…っ あううっ

大きいだけ
じやなく柔らかい

ほうらおっぱいをこうして
マッサージしていると
どんどん形が変わっていくぞ

そ…それはあつ

体がどんどん感じ
ちやつてるうう…っ

んふあつあんっ
それ以上…っ
揉んじや…だめえ…っ

でも乳首は硬く
なってるじゃないか
感じてしまったのかい？

だめだめえっ
相手は瑛太さんの
お義父さんなのよっ

ギュウ

美里さん我慢せずに
もっと声を出していいんだぞ
誰も来ないんだから

そ…そんな事…っ

ほらっ

んあふああっ

そうそう
乳首をきゅうつとされると
たまらなくなるだろう？

あああっんっんふううっ
先っぽ…ダメ…
も…もう…

よおしよし
もっと乳首のマッサージを
してあげようね

きやふううんっ
ああっんっ ダメッ
ダメダメダメッ

気持ち…
いい…っ

キエッ
キエッ
キエッ

キエッ
キエッ
キエッ

いい反応を
するじゃないか

どれこっちの方は
どうかな？

ダ…ダメッ
そっちは…っ

は…恥ずかしいっ
お義父さんもう許してえ…

乳首だけじゃなくてクリも
硬く勃起してるじゃあないか

おおっお湯の中でもわかるぞ
こっちも大洪水じゃないか
指があつという間にヌルヌルだ

それは擦ってくれと
いう事かな？
どおれ

あ…あううっ
そこ擦られると…
私…っ

アソコが…痺れちゃ…っ
あっあっあううっ

どいっ

ぬちゃ

ぬちゃ

ぬちゃ

んん

クリは上下に
擦られるのが好きかな？
それとも軽く
叩かれる方が好みか？

あつ ああ ああ
どっちも… ああ ああ…
どっちも好き… ですう…

いやらしいなあ
美里さんは

いやらしい嫁でんくうつ
ごめんなさう…
あふ ああ

もうダメえ…
気持ちよくって… ああ ああ
理性があ 飛んでっちゃううう

ほおら
おっぱいの硬い所も
こっちの硬い所も

両方同時に
シコってあげるから

あああ あつ 指い 凄いの…
上も下も同時に責められて

私… ああ
いっぱい感じちゃう

首筋が紅潮してるぞ
気持ちいいんだね 美里さん

はい…っ
気持ちいい…っ
たまらないんです…
あふうっ

マッサージは私の得意技だからね
このまま任せなさい

瑛太さんのお義父さんの指で
こんなに感じて…

瑛太さんに中途半端に
触られた体が…やっとな
やっとな満たされそう…っ

ふあいつ 気持ちいい…
気持ちいいですう…っ

ダメなのに…
こんな事…ダメなのに…

こんな風におつぱいもアソコもこねくり回されて……
私私もう

ああつ お義父さんの
指使い凄い……

イク……イク……いつちやうつ
お義父さんの指で……私……



ビクビク体を震わせて
だいぶ満足出来たみたいだねえ

はぁ はぁ はぁ はぁ はぁ

は……はひ…はひ
は…はふうう…っ

**私……
お義父さんの前で…
イっちゃった…**

は……はひ……はひ
は……はふうう……っ

私……
お義父さんの前で……
いつちやった……





ごちそうさまでした

美味かったなあ
美里のご飯は最高だけど
たまにはこういうのもいいな

ふふっ 後片付けも
しなくていいしね

いやあ
飯も酒も最高だな
瑛太もつと飲むか？

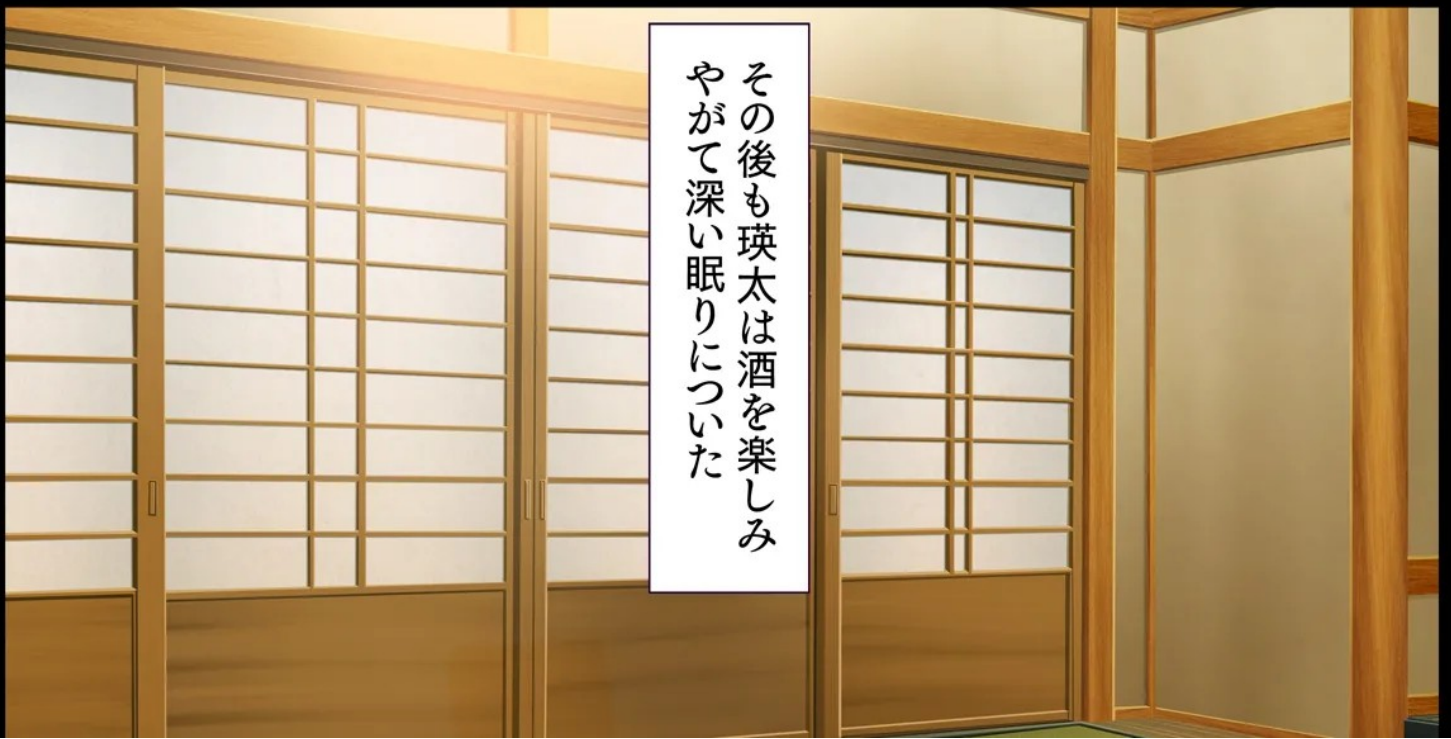
そうだなあ
せっかくだし飲もうかな

よしよし 注いでやろう

おつととと…
おはあつ 最高っ

ふふっ 瑛太さんったら
ご機嫌ね ♪

ふふっ



その後も瑛太は酒を楽しみ
やがて深い眠りについた



瑛太さんグッスリ眠ってる

本当は二人で
もっと楽しみ
たかったけど...

幸せそうな寝顔...

瑛太さんの疲れが癒えて
この穏やかな寝顔が
見られたんだもの

これで十分幸せよね

来て良かったわ



瑛太のやつ美里さんを
放ったらかしにして

いいんですお義父さん
瑛太さんの疲れが癒えたなら
それで...

しかしそれじゃあ
美里さんが可哀想だろう



どれ...

ぎゅっ

何をなさるんですか
お義父さんっ

瑛太の代わりに
私が美里さんを癒して
あげようと思っ

ダメダメですっ
こんな事…っ

そんな風に言いながら
抵抗する手にそこまで
力が入つたらんぞ

だって…

さっきのお義父さんの
指を体が覚えて…勝手に
体が反応しちゃうっ

ほうら
体は正直じゃないか

だめっだめですっんんうっ
瑛太さんが目の前にいるんですよっ
んふああっあはっあ

こいつが酔うと滅多な事では
起きない事は美里さんも
知っているだろう

確かに…んっ
瑛太さんは簡単には
起きたりしないだろうけど…

だけどころな事…っ

眠ってるとはいえ瑛太さんの
目の前でお義父さんとなって

こんな事って
さつきはあんなに
素直だったじゃないか

だめ…やっぱり
いけない事です…

なあにマッサージだよ
マッサージ

あ…ああっ
あふううっ
ダメエ…っ

ほおら
気持ちいいだろう

あ…あああつ
んこんな…あああつ

ダメえ…
おっぱい感じちゃうつ
瑛太さんの前なのに…
でも…あああつ

ダメ…なのになにっ
感じちゃうのっあああつ
気持ち…いい…っ

美里さん
綺麗な乳首の色だねえ

ああっ
浴衣はだけちゃってるう
いやあ…見ないで下さい

こんな綺麗なもの
隠す方が無粋と
思わんか？

ほら私の手の中で
美里さんのおっぱいが
跳ねて喜んでる

あゝっ

んっんっ指が…
胸に沈んで…ああっ

お義父さんの指…
感じちゃううう

ごらん
乳首をキュウつと
摘まんで離すと

先っぽそんなに
弄っちゃいやあつ

おっぱいがブルンブルンに揺れる
このおっぱいは最高だね

ああつ

ああああつ
ダメもう…私…

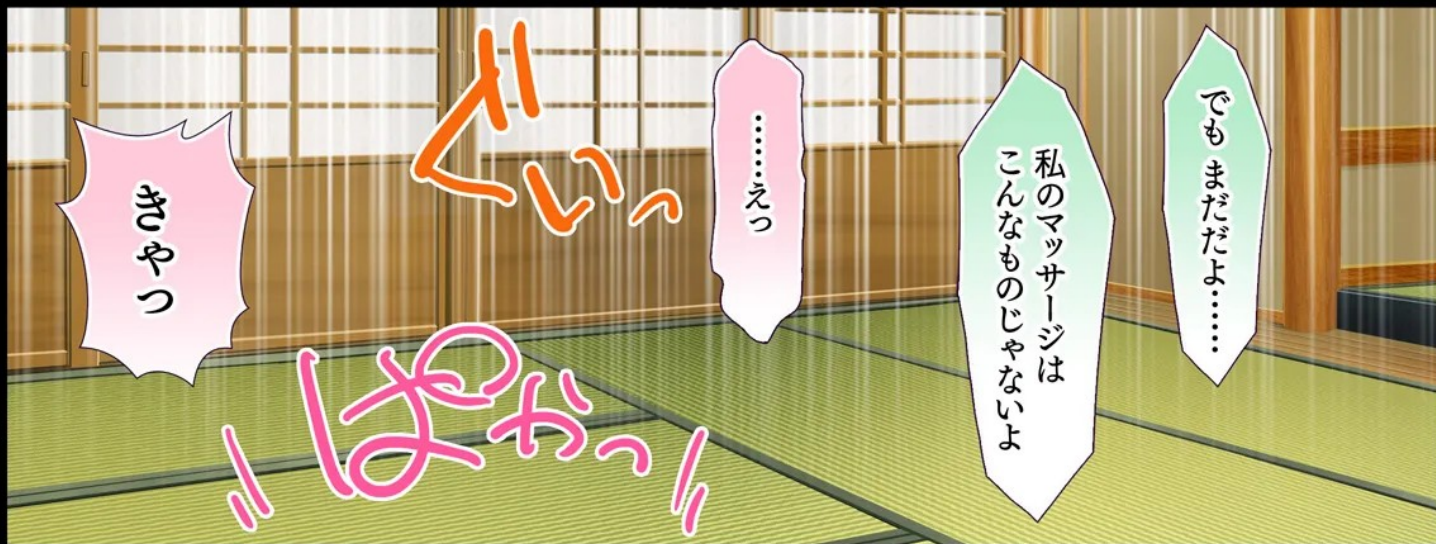


お昼にも……
お義父さんに
イカされたのに……

また……
またいつちやう

おっぱいだけで
いつちやうううっ





おお
いい眺めだ

こんな
恥ずかしい格好……
やめて下さい……

許してえ……

あふあうつ
真ん中あ 擦らないでえ……

ほうら 気持ちよさそうな声を
上げるじゃないか

そんな事を言っても
ここをこうして撫でられると

あぁ♡
スリスリスリ

うう…っ
声…抑えたいのに
なんで我慢
出来ないのおっ

あああ…見ちゃ…ダメ…
んっ あああっ

美里さんのマ〇コは
肉付きがいいねえ

おや口とは裏腹に
マン筋におツユが
浮かんできたぞ？

こうしているとマン筋が
くつきり分かるよ

お義父さんに見られて
興奮しちゃってる…っ

ひうつそんな…
わ…私…っ

どうれ
風呂からあがったばかりなのに
パンツにシミがついたら嫌だろう？

きやあつ

や...やめて下さい...
こんな...こんなの...っ

美里さんは乳首だけじゃなくて
マ○コもピンクで綺麗な色だねえ

ずるん

じっくり見ないでえ...っ

ふふそうだ
見てるだけじゃいかな
...どれ

きやふうつ
ああっお義父さんの指い
私の膣内に挿入って...っ

おお
ヌルヌルのマ○コが
私の指を簡単に
飲み込んでくじゃないか

あつあああつ
膣内あそんな風に
弄っちゃ...あううっ

にゅるにゅる



美里さんは
奥とクリトリス
どっちが好きかな？

やっぱり
クリトリスか？



んっはあ
ああつ

そこ弱い
弱いですっ
だから…っ



よおしよし
クリトリスが大好きか
たくさん擦ってやろう

あああつ

あーっ

あっあつ
感じちゃうっ



そこ…グリグリされると…
あああんっいいっ

感じちゃうのおおっ

おお美里さんのマ○コが
気持ちいいって
私の指に絡みついてくる

マ○コ汁も止めどなく溢れて
私の指がふやけそうだな

このままマン汁が出続けたら
美里さんのマン汁温泉が
浴びれそうだな

どれ美里さん
もつと素直に感じなさい
こうやって膣内を掻き回されると
マ○コが喜ぶだろう？

んっんんっ
素直に…なんて…
なれません…んふああっ

こんな状況で無理よお…っ
瑛太さんが…
瑛太さんがいるのにつ

あふっんっ
だってソコ…あああっ
気持ちよすぎてえっ

ふああうう…っ
ああんまり意地悪な事
言わないでえ…っ



…それじゃあ
ここでやめても
いいのかな？

え…？
やめ…る…？

このまま大人しく
朝まで眠ってしまっても
私は別にいいんだぞ？

そんな…体が反応してるのに
こんな状態で放っておかれたら…
私…おかしくなりそうっ

すっ

どうした？
何かして欲しい事があるなら
ちゃんと一言わんと分らんぞ

あ…
お願いします…
続きを…

ん？なんだ？
なんの続きだ？

さっきの…

お願い欲しいの…っ
お義父さんの指…
欲しい…っ

さっき？

はあ
はあ
はあ
はあ
はあ

で…ですから…っ

このまま朝を
迎えるなんて無理い

私…私…っ
お義父さんにイカされ
たいのおっ

うう…はつきり言わないと
して貰えないんだわ…
恥ずかしい…けど…

あなたごめんなさいっ

お…お義父さんの指…で
わ私のおま〇こ…
ほじって下さ…っ

ふふふ可愛い嫁に
そんな風に頼まれたら
断れんよなあ

どおれ
美里さんのスケベ穴

望み通り私の指で
グチヨグチヨにしてやろう

あぁっ 指っ 指凄いつ
私の膣内で激しく
動いてっ あぁっ
ダメっ ダメっ

あつ ふぁあううん
あつ あついい
お義父さんの指いいつ

あぁあふううんっ
おま○こ気持ちいいつ

マ○コがパクパクしてきたぞっ
イクならちゃんと言いなさい

ふぁいいいつ
お義父さんの指でえ
おま○こいっぱい擦られてえ

美里お
もうイキますっ
イっちゃいますっ

あつ あつ あぁあつ
はしたない嫁で
ごめんなさいいつ



おおつ
こりや凄い

あ...ああ...あふう...っ

はあっはあっ
ここんな...ああ...っ

私...お義父さんの前で...
潮...噴いちゃった...

美里さんの温泉は
間欠泉だったみたいだな
見事に噴き出してきおったわ

はあっ
はあっ
はあっ
はあっ
はあっ
はあっ
はあっ
はあっ
はあっ
はあっ

ひくひくひくひく



さてそれじゃあ…
次は私も気持ちよくして
貰おうかな

そそれは…

まさか嫌とは
言わんよなあ？



でも…あの…

無理よっ
お義父さんとなんて



自分はすっかり
気持ちよくなっておいて
私には何もなしか？

潮まであんなに噴いておいて
それではあまりに礼儀に
かけると思わんか？

あ…あの…
じゃあ…口で…

口でご奉仕
させて下さい…

そうかい？
じゃあ頼もうか

は…はい……

口でするだけだから…
あなた…許してね…

ほらほら啜えるだけ
じゃなくて
しっかり舌も使わんと

むぐっんっ
んぶあっ

大きっ
んぐうっ

ふあふあいつ
ぺろっじゅるっ
じゅちゅうううっ

お義父さんの
瑛太さんのより
大きいっ

それに凄く硬くて…
口の中がいつぱいになっちゃう

ぢゅちゅうううう

どうだ？
私のチ○ポは

しゅごく…大きくて
カリも張ってて
あふっんっ

舐めると…
カウパーが溢れてきて

口の中が…
全部…んっお義父さんの
味になっちゃううう

随分褒めて
くれるねえ

私のチ○ポを
気に入ったの
かな？

ん~~~~？

ああふう…
だつて…しゅごい…っ

こんな立派なおち○ちんが
私の膣内に挿入ってきたら…

んぐうっおはあつ
じゅぽおおっんふううっ

想像したら…アソコが
切なくなってきたっちゃうう



お義父さんの…んっ
男の人のにおいが…っ

おち○ちんの臭いが
濃い…頭がぼうっと
してさちやう

ああダメっ
我慢出来ない…っ
フェラしてるだけなのに

アソコが疼いちゃってる…っ
ここに…ここに刺激が欲しいのっ

少しだけ自分で…
触ってしまおう…んっ

んっんむむぐっ
舐めると…口の中…
刺激されて…あああっ

おち○ちん…んくっ
啜えるの…いい…んっ

クチュ

とろけてる…
私のアソコ…

おち○ちんしゃぶって
とろけてるうううっ

ごめ…ごめんなさいいっ
がまん出来なく…っ
あっ ああっ

美里さんは淫乱だねえ
私のチ○ポを舐めながら
自分でマ○コまさぐって
んのかい

ずちゅっ じゅぽおおっ
んっんっ

そんな事言われたら
もうたまらんっ

おち○ちん舐めながら
おま○こいじるの
気持ちいいっ

んああっんふっ
あふああっんっ
きもちいいっ



おち○ちん
膨らんで…

ふあいつ
いつていつてくたしやつ
んぷあああああつ

お義父さんの…
ビクンビクンって
震えてる

イクッ
出すぞ 美里さんっ

ムムムムムム

ぐちゃぐちゃぐちゃぐちゃ



んぐんむぐくつ
ごくくごくくつ
しゅつごく濃い...

ほうら
まだ出るぞ

んぐつぐつ
もこれ以上飲めな...



ぐほっ
ごほっ けほっ
こほっ
トホ
トホ

大丈夫か?
美里さん

大丈夫...です...

濃いのがこんなに
たくさん...

口の中がドロドロだわ...
こんなねばねばなの...
子宮にしっかり
張り付きそう...



っ凄い...お義父さんの
...まだ大きい

美里さん
これが欲しいだろう?

えっ...
そんな...こと...



私のチ○ポ舐めながら
マ○コほじっとしたくらいだ
これが欲しくないわけがない

あ…あぁ…
欲しい…欲しい…っ

そんなに物欲しそうな目で
チ○ポばかり見て……
私が望みを叶えてやろう



あふう…ダメ…なのに…
お義父さんとこんなの…

ダメなはずなのに…っ
おま○こドロドロに
なっちゃって……



よしよし私のチ○ポで
美里さんのスケベ穴を
埋めてやろうなっ

はい…

あぁっ 瑛太さんが目の前で
寝てるのに…っ お義父さんの
おち○ちに抗えないっ

んっはああああああつ
挿入ってくる…っ
挿入ってくるううううう

お義父さんのおち○ちんで
アソコが広げられてっ
ああっ太いのきてるうう

オナニーしてただけあつて
よく濡れてるねえ

チ○ポが簡単に
飲み込まれていくぞ

ああつくふうっ
お義父さんの…ああっ
私の膣内に…全部挿入ってる

ぬちゃっ

ぬちゃ

ぬちゃ

あああつ
瑛太さんの
目の前で…

瑛太さんの
お父さんの
硬くて大きな
おち○ちん

おま○こに
受け入れ
ちゃつてるう

ほうら
奥までズッポシだ

奥まで届い
ちゃつてるう…っ

瑛太さんの
より長くてっ

あつああんっ
凄い…凄いの…っ
こんな奥まで…ああっ

美里さんのマ○コが
蠢きながらチ○ポに
吸い付いて来とるぞ

膣内が勝手に
おち○ちんに
しがみついちやう

おち○ちん良くて…
あぁっ

おおマン汁が
泡立つてるぞ

どうれ
いっぱい擦って
やるからな

んはっ あぁあぁうっ
激しくピストンされて
おま○こ汁ドブドブ
溢れちやうのおっ

あぁっ 気持ちよくて
本気汁が…止まらないっ
止まらないんですうっ



よおしよし
メス穴ガンガン
掘ってやるからな

よおし
ハメまくってあげよう

ハメてえっ
いっぱいハメハメしてえっ

うーん…美里お…
むにやむにや…

きゃふううんっ
あっあああっ
んっいのっ

ひゃいっ
んほおっんあああっ
しゅっいっしゅっいのおっ

ひっ

…大丈夫
起きはせんよ

でも…

お義父さん
激しくしないで…

こんな極上マ○コを前にして
激しくやらない手があるかつ

あああつ
んぐっんんうう

気にせんでいいのに
ほらっ

あああ…んっ
んぐうう

声…声を
抑えないと…っ

お願い…
あなた
起きないで

お義父さん
お義父さん
お義父さん

すぴーっ
すぴーっ

ほら起きないだろう

どおれっ 美里さんの
一番好きなGスポットだぞ

きゅんぐんぐん

ぐんぐん

んんぐんぐん

Gスポットにグリグリっ
当てられて何度も擦られて
あああっん あふああっ

ぎゅん

喘ぎたくないのにな
あっあっあっ
おち○ちんの先が

いいっ
あふあああんっ

ズンズン

ヌルヌルのおち○ちんで
突かれまくるのいいっ

おま○こ汁とお義父さんの
いやらしいカウパーが
膣内で混ざり合っ……んっ

おうおう
いい声で鳴くねえ

声っ我慢したいのっ
したいのに出来ないっ
気持ちよすぎてあああうっ

そりや最高だっ
自由にヨガリなさい

自制なんて出来ないのっ
あっあっあああっ
頭バカになりゆっ

もうあああっ
おま○こする事しか
考えられなくなりそううう

あっあっあっ
いくっあああっ

私あふっ
イクイクっ

ニギハヤヒ

もいッ
もいッ

もいッ

もいッ
もいッ

もいッ
もいッ

可愛いねえ
遠慮なくイキなさい

瑛太さんの前で
瑛太さんのお父さんの
おち○ちんで

ありがとうございませう
美里おイキますうううっ
あっあっあっ

私っあああっ
イっちやううううううっ



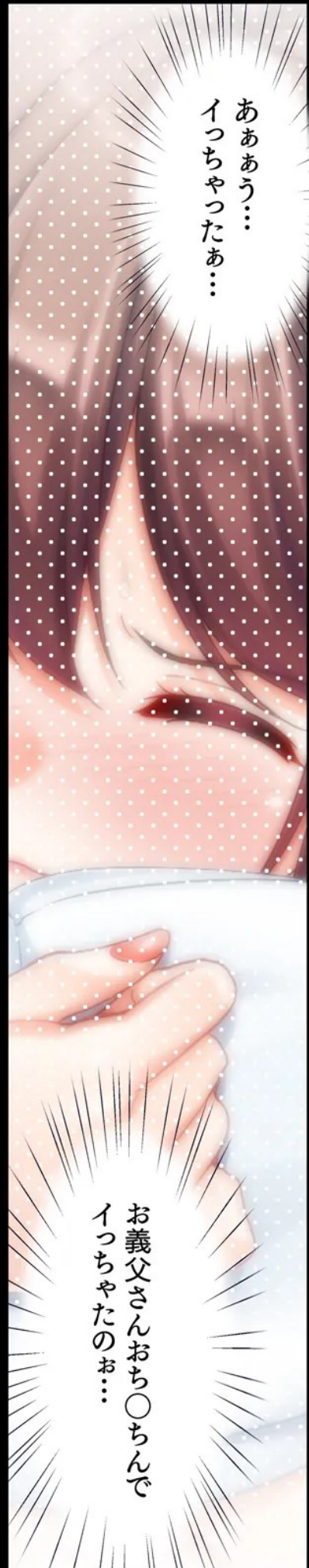
ああダメえっ
そんなんっ

上手にイケたじゃないか
じゃあ今度はこうして…

もういった
いつてるのおまだあつ

いつちやつてる
からあああ…

グイッ…



あああう…
いつちやつたあ…

お義父さんおち○ちんで
いつちやつたのお…



はあ…はあ…つ

お義父さんおち○ちんで
いつちやつたのお…

いった所をまた
突かれるのが
たまらんだぞ

ああああつ
らめええ…つ

どおれほれっ
どうだっ

あつ あああつ
イキっぱなしになりゆっ
んはあつ

アソコが
けえれんしっぱなしに
なっちゃうう

はひっんひっ
お願い……もう
許してえ……っ

許す？

私は美里さんを
いじめてなんて
いないぞ？

ほら見てみなさい
美里さんの体はこんなにも
喜んでるじゃないか

ほうら今どうなっているか
言葉に出して言ってみなさい

そんな事…
あああつ

自分の体が
どうなっているか
言ってしまうば
些細な事など
吹っ切れるぞほら

あつああつ
でも…でもおお…つ

んふうう…
だつてえ…あああつ
あふあつあんつ



う…うう…
お義父さんのが…
挿入ってますうう

何がどこに？
もつとちゃんと
言いなさい

んふああつ
お義父さんのおち○ちんがあ
私のおま○ここに挿入つてますうう

お義父さんのお極太おち○ちんがあ
ズンズンきちゃってるのおおつ

しゅん

じゃーん

おつ

○ちんがあ

その調子だ
美里さんはすぐに
我慢しようとする
癖があるからなあ

んふああつ
ははいいい

あふっんふああああつ
いいっあああつ
お義父さんのおち○ちん好きっ

大好きなおち○ちん欲しくてえ
おま○こ濡れまくっちゃうのっ

これからはどどん口に出して
心も体も素直になりなさい

よしよいい子だ
ご褒美にまたイかせて
やるからな

太くて硬くて長いのに
ズボズボされておま○こ
広げられちゃってりゅっ

せうせう
せうせう

じゅわん
じゅわん
じゅわん

せうせう
せうせう

せうせう
せうせう

グチヨグチヨって
ヌポヌポオって
やらしい音止まらにやいつ

ああっ お肉とお肉があ
叩きつけられてえ パンッパンッて
音がする度にい

おち○ちん深い所にくりゅのお
あああああああああつ
イクううまたイクううう

あふあああつ
しえつくすでこんなに
気持ちいいの初めてえええ

おま○こパクパク
してきちやつてりゅつ
イクイクっ

ははは
嬉しいことを言ってくれるねえ
たくさんパンパンしてやるぞっ

そろそろ
出るぞっ

えっらめっ
らめらめらめえ

ダメなのっ
本当はダメなのにつ

でも欲しいのっ
このまま出して
欲しいのおおっ

お義父さんの
おち○ちんの
精子欲しいのお

あなたあ…
ごめんなさいっ
私…私いい…っ

よしっ
出すぞっ

じゅわ
じゅわ
じゅわ

じゅわ
じゅわ
じゅわ

ドクドクきて……
熱いの……注がれてる……

あつふあああああつああつ

おま○こがあ…
しゅうしゅくしながらあ
お義父さんせえし
飲み込んでりゅう

飲み込んでりゅう

あふああ…んっあああ…
瑛太さん…ごめんなさいい…

はあ

はあ
はあ

はあ
はあ

はあ

私…あひっんっ
あなたのお父さんの
女になっちゃったあ…

はあ
はあ
はあ

ううつ
あつたま痛え…
完全に二日酔いだコレ…

あなたつたら…
はいお水

サンキュ
ああ…ダメだな…
少し横になるよ

大丈夫？

ああ
俺の事は気にせずに
過ごしてくれていいよ

分かったわ…

じゃあせつかくだし
もう一度お風呂頂こうかしら

あなた行ってきますね

おう…
ああ…イテテ…





おやおや本当かい？
昨日はあんなに
ヨガつてたのに

そそれは…

今さら清純ぶっても
私のチ○ポでアクメした
その事実が変わらんぞ



っそんな…

口で否定しても
身体は私のチ○ポを
期待してるんだらう？

あ…ああ…

そう…私の身体は
昨夜の快感を…
お義父さんの
おち○ちんを求めてる



さあタオルを取って
こっちに來なさい

気持ちよくしてあげるから

……はい……

抗えない…

アサッ



ほら
私のはどうだ？

ふふふ
明るい所で見ると美里さんの
体もたまらんねえ

大きい…です
とっても太くて
…硬くて…

そう美里さんを
たまらなくする
最高のチ○ポだろう

はい…

あなた
ごめんなさい…

でも私…お義父さんの…
お義父さんの
おち○ちんの方が…

最高に気持ちよく
なれちゃうの…

いきなり挿入って…っ
んんはあああつ

大した前戯も
しとらんのにココはもう
ドロドロじゃないか

お義父さんのおち○ちん…
見てるだけで…っ
奥からどんどん溢れてきてっ

おま○こが…
おち○ちん欲しい欲しいって
ヨダレを垂らしちゃったのお

瑛太とのセックスじゃあ
満足出来ん体になるだろうが
別にいいだろう

そんな事されたら…っ

ダメエ…そんな事…っ
私はあ…瑛太さんの
妻なのおおつ

嬉しいことを
言ってくれるねえ
それじゃあ美里さんの
マ○コを私のチ○ポの形に
作り替えてあげよう

美里さんも
義理堅いなあ

すぐにヨくなっちゃうっ
あっあひっあひいんっ

あっああああっ
クリいいっクリ好きいっ
もっ刺激してええんっ

美里さんは
快楽に弱いなあ

よわ…いのっ
気持ちいいのに
弱いのおっ

ああっそんなっ
急に一番…深いところにつ

こうして擦り上げると
クリにも当たっていいだろう？

よしっ私のチ○ポの事しか
考えられないくらい
突きまくってやろう

ああっダメっ
膣内だけじゃなくて
クリまで刺激されたらあっ

大きな黄色い「X」マークと、赤い「ズ」の文字が描かれている。

「じゅわ」の文字が描かれている。

「じゅわ」の文字が描かれている。

「ぐんぐん」の文字が描かれている。

「ぐんぐん」の文字が描かれている。

こんな外でえっ 誰かにい
見られるかもしれないのにつ

大好きな
瑛太さんのお
お父さんの
おち○ちんなのに
い

あつ あつ それでもお
ぶつといおち○ちんっ
欲しいの止められないのっ

ひひひっ
うちの嫁は淫乱だねえ

私…こんなにも
スケベだったなんて
知らなかったのお

おち○ちんでゴツゴツ突かれるたびに
貞操観念とかあそういうの
どうでもよくなつちやうのおお

欲張りだねえ
そんなにマ○コ
ほじって欲しいのか？

もつとつ……
もつとおま○こ
ズポズポしてえええつ

掘つてえ 掘つてえつ
美里のおま○こ
ゴツゴツ掘つてえつ

おらっ
これでどうだっ

しゅわ
しゅわ
しゅわ
しゅわ

あああああつ
いっ
んっんはああああ
おま〇こところけるっ

昨日もこれえ良かったのお
お義父さんの高速ピストン
しゅきっしゅきいいっ♡

あああああつ
えぐられりゅっ
おま〇こえぐられ
りゅううっ

イクのか？
ん？
イクのか？

ひゃいっイキましゅっ♡
美里おま〇こもうイキましゅっ

グチヨグチヨおま〇こ
スポスポされて
イクううっ♡

あああつ
いつてるのっ いつてるのにいい
おま〇こきてりゆうううっ

いつてる時に突かれるのが
たまらんのだろうっ

んひっんほっ
んほおおおおおおっ
子宮にゴツゴツきてりゆううっ

しゅわ
しゅわ
しゅわ

あつあひつ
全身があ 気持ちよくてえ
おかしくなるううううっ

きやつふううううんっ
イキっぱなしになりゆっ

あああつイクっ
またイクっ

しゅわ
しゅわ
しゅわ

しゅわ
しゅわ
しゅわ

しゅわ
しゅわ
しゅわ

ううっ 精子が
搾り取られるぞっ

せえし期待してえ
おま○こ締め付け
ちやうのおおっ

また
出すぞっ

あっあひっ
また来たあ…っ
また中出しされちやったあ…

きてっ きてええええっ
あっついせえし奥に出してええっ

また中出しされて
精子溢れちやってるう

美里さんのマ○コは名器だねえ
これなら何発でも出せるぞ

あああっ お義父さんの…
お義父さんのおち○ちんも
とっても素敵ですううっ

何度でも復活する
淫しいおち○ちんで…っ
美里のおま○こもっつと虐めてええ

可愛い嫁に頼まれたら
嫌とはいえんなあつ
ほれっ どうだっ



あああああつ
おち○ちん凄いのおおつ
おま○こ気持ちいいっ

嬉しいいつ
嬉しいのお淫乱おま○こお
気に入って貰えてえ

あつあつあああつ
田中家にお嫁に来てっ
良かったあああんっ

ははははっ
よおしまだまだ可愛がつて
やるからなあつ

美里さんの
マ○コは最高だっ

イキ狂うまでっ
おま○こ突いて下しやいっ

私のチ○ポは
たまらんだろうっ
チ○ポいいだろうっ

ほらチ○ポいいって
言ってみなさいっ
さあっ

あうううつ オチ○ポおおおつ
オチ○ポしゅきつ しゅきいいつ

ドスケベ美里はあ
義父さんの
オチ○ポでえ

あひっ ひっ チン…あふっ
オチ○ポおっ オチ○ポいいっ
いいでしゅうううっ

おち○ちん何て上品ぶった言葉より
チ○ポの方がドスケベな
美里さんにはよく似合ってるぞっ

しあわしえアクメ
キめちやいましゅうつつ



あふ♡

あ

女

いいぞおつ
何回でも新妻マ○コっ
楽しんでやるからなあつ

ひやいつひやいつ
美里のおま○こ
好きにしてっ

あひつあふううつ
オチ○ポしやいこおおつ

誰が来るとも知れない
露天風呂で二人は互いの
気が済むまで何度も何度も
熱く求めあつたのだった

温泉旅行から数日後――

あなた
行つてらっしゃあい

おうっ
温泉効果で元気も出たし
仕事頑張ってくるよっ

じゃあ
行ってきますっ



美里が瑛太を見送ると
リビングの扉が
静かに開いた

ガチャ

瑛太も元気に
なったなあ

ところでこっちの
息子も元気なんだが……

お義父さんのモノ
もうあんなにも
大きくなって……

あの温泉旅行以来
お義父さんは毎日
私の体を求めてくる

ほら大好きな
お義父さんのチ○ポだぞ
欲しくなってきただろう

キルッ

そんな……こと……

そして私も……
お義父さんの誘いを
拒めないでいる……

あ…あぁ…
こんな事はもう…

そう言いながらほれ
マ○コはもうビショビショ
じゃないか

いや…
言わないで…
言わないでえ…っ

じゃあやめていいのか？
今日のチ○ポはお終いで
いいのか？ん？

ほらっ…
どうして欲しい
んだい？

…オチ○ポ…欲しい
もっ…気持ちよく
になりたい…

お義父さんの…
オチ○ポでおま○こ…
…掻き回して欲しい

あぁだめ…

お義父さんとのセックスが
一番感じる体になっちゃったのおっ

よしよしそれでいいんだ
望み通りマ○コ擦ってあげようねえ

あつあああつ
お義父さんのカリが
おま○この入り口に
ひっかかつてえ……

その度につ
おま○こ広げられてえっ
ああっんふうううっ

おま○こ鳴いちゃうっ
広げられたおま○こから
空気い入っちゃうううっ

ぶぴぶぴって
恥ずかしい音っ
いっぱい漏れちゃううっ

美里さんっ
メス豚じみてきたねえっ

恥ずかしいんほおつ
でもおでも私いつ
田中美里はあっ

おま○こ大好きメス豚あ…っ
メス豚主婦の美里でしゅううっ

メス豚だからあ
人間のお倫理観とかあ
どうでもよくてえ

旦那さんのお父さんのお
大きなオチ○ポっ体の奥にい
受け入れちゃつてえ

あああつあひいいっ
ヨガリまくつちやうのによお

あああつ
イクつイクのっ
あああつ

愛しいあなたを見送った
この廊下でえ
お義父さんオチ○ポでイクっ

もうイクのかい
早いねえ

私はまだイキそうにないから
遠慮なくこのまま突かせて
貰うよ

あつはああああん
激イキおま○こおおつ
ビクンビクンに震えてりゅつ

ドロドロに溶けたあつ
けれんおま○こ突くのっ
許してええええええつ

それ以上突かれたらあつ
あふっあひいいい

連続アクメくりゅううううつ

うおおっ 締まってきたっ
締まってきたぞおっ

あひいっ はひい
りやめっ りやめっ
イキくりゆううっ

せええき欲しくてっ
子宮おりてくりゅっ
あああっ あふううんっ

おま○こきゅつきゅうにやのおっ
オチ○ポしゅきっ
お義父さんのオチ○ポ大しゅきいっ

オチ○ポ絞りで
ミルクちようらいっ
あひいっ 締め付けおま○こで
オチ○ポ喜んでええええっ

おま○この肉があ
しゅうしゅくしてえ
オチ○ポ絞りすりゅのっ



いい嫁をもつて幸せだなあっ
ははははっ

あつはああああんっ
お義父さんのしゅてきオチ○ポおっ
一生…あふううんっ

一生お美里にお世話しやしえて
くだしいいいいいっ

ひゃいひゃい
締めましゅっ

お尻もおま○こもおつ
もつともつと
締めちゃいましゅううっ

締め付けおま○こ
いいですかっ
あひいいいっ

いいつ いいぞおつ
ほれっ ケツ穴に力を込めて
もつとマ○コ締めてみいっ

くうつ
こいつはたまらんっ

いいぞっ 美里さんの
マ○コを味わったら
他では射精出来んなっ

嬉しい 嬉しいでしゅううっ
いつでもお 美里おま○こ
使って下しやいいっ

くうっ イクっ
美里さん 出すぞっ

きちええっ アクメおま○こにつ
濃厚ザーメンきちえええええっ

セックス
ムンムン

中出しおま○んお
ドロドロお...

おま○この中あ
タプタプに満たしやれて...っ
しえいし溢れちやつてりゅうう

ああつ私い
お義父さんオチ○ポに
犯されてえハメられてえ

快樂まみれでえ
幸しえでしゅうう

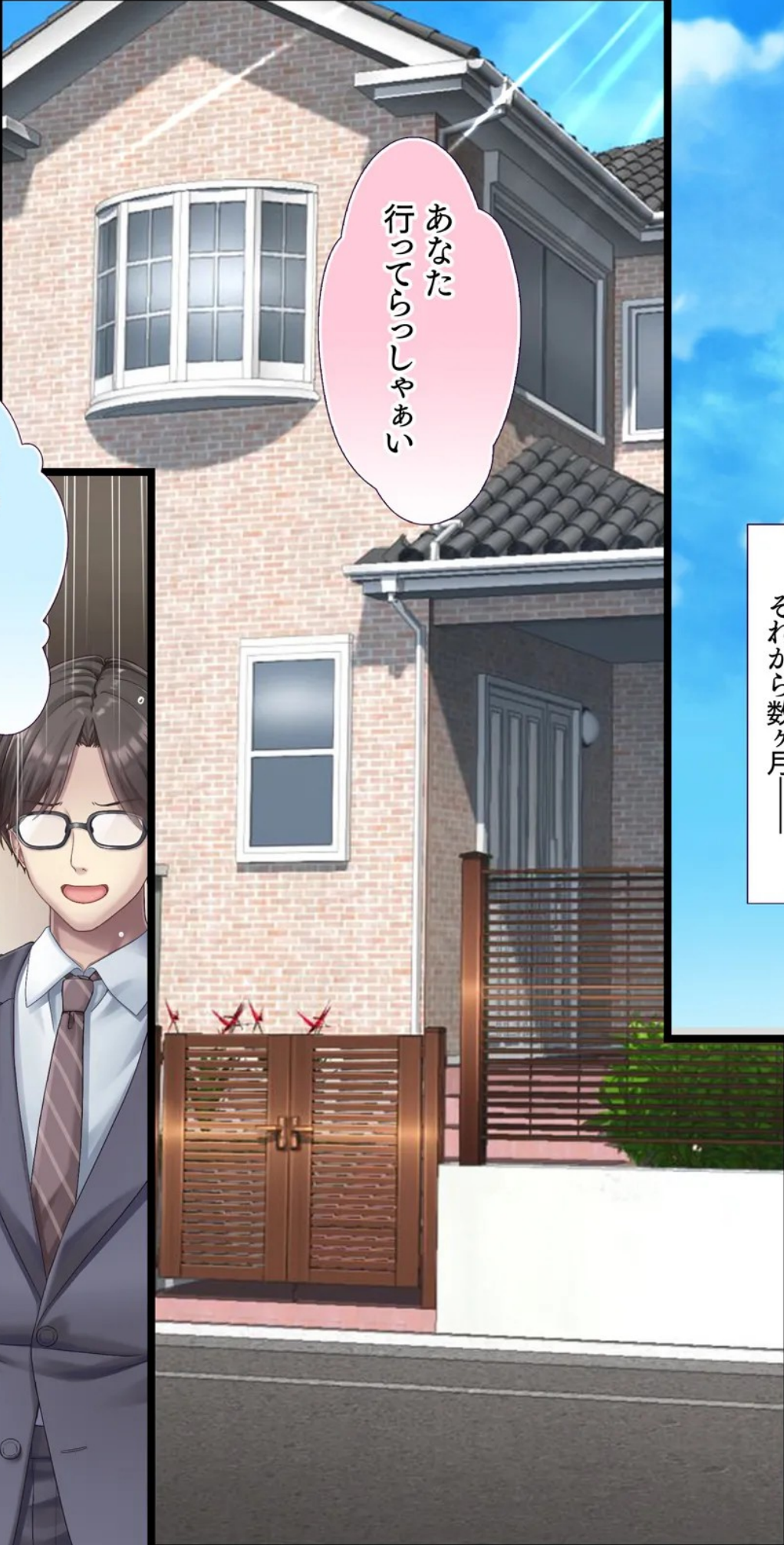
ぽろぽろ

ぽろぽろ

ぽろぽろぽろぽろ

ひんひん

ひんひん



あなた
行つてらっしゃあい

おうっ
生まれてくる子の為にも
仕事頑張ってくるなっ

それから数ヶ月――

私は…きっと
あなたの子だと…
そう信じてる…

でも……
中出しされた回数
はお義父さんの方が
はるかに多い…

おいしい美里さあ
早くこっちに來なさい



そして今日も…
私はお義父さんに注がれる…